



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月13日

上場会社名 神戸天然物化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6568 URL <http://www.knoweb.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮内 仁志  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 先砥 庸治 TEL 078 (955) 9900  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,347	0.9	574	△53.7	644	△49.8	518	△44.6
2019年3月期	6,290	△0.3	1,240	1.5	1,285	6.3	936	3.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	67.02	-	5.4	5.2	9.1
2019年3月期	121.29	-	10.3	10.4	19.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	12,770	9,827	77.0	1,268.86
2019年3月期	12,002	9,454	78.8	1,224.71

(参考) 自己資本 2020年3月期 9,827百万円 2019年3月期 9,454百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	42	△1,863	254	1,476
2019年3月期	1,254	△2,111	△1,484	3,042

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00	193	20.6	2.1
2020年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00	193	37.3	2.0
2021年3月期(予想)	-	0.00	-	25.00	25.00		26.2	

### 3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	7.1	950	65.4	1,000	55.1	740	42.7	95.55

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年3月31日現在の発行済株式数を使用しております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	7,744,900株	2019年3月期	7,720,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期	36株	2019年3月期	-株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	7,736,153株	2019年3月期	7,720,200株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における国内経済は、長引く米中貿易摩擦や不安定な中東情勢など海外の不安要因を抱えながらも、政府による継続的な経済対策の下、設備投資や生産の増加、また雇用情勢の着実な改善など景気回復基調にあり、個人消費も回復傾向が見られました。一方、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、日本経済、世界経済に今後大きな影響を及ぼすものと懸念されます。

このような状況の下、当社は中期経営計画の基本方針に沿って、引き続き生産ソリューション提供の拡大による事業構造の変革、新技術の開発、製造合理化等による一層の業績改善に注力してまいりました。

機能材料事業部門は、一部の量産ステージ製品の需要減少及び一部の開発ステージ製品の端境期の影響から、その販売は低調に推移しました。その結果、機能材料事業部門の売上高は2,249,824千円（前年同期比17.4%減）となりました。

医薬事業部門は、量産ステージ製品の販売が好調に推移しました。その結果、医薬事業部門の売上高は2,846,988千円（前年同期比20.9%増）となりました。

バイオ事業部門は、一部量産ステージ製品の生産計画見直しの影響から、量産ステージ製品の販売が低調に推移しました。一方、開発ステージ製品の販売が好調に推移しました。その結果、バイオ事業部門の売上高は1,250,770千円（前年同期比3.3%増）となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は6,347,583千円（前年同期比0.9%増）、営業利益は574,459千円（前年同期比53.7%減）、経常利益は644,632千円（前年同期比49.8%減）、当期純利益は518,480千円（前年同期比44.6%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は4,335,189千円となり、前事業年度末に比べて439,517千円減少いたしました。これは主に売掛金が1,022,478千円及び仕掛品が210,779千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が1,595,899千円減少したことによるものであります。

固定資産は8,435,490千円となり、前事業年度末に比べて1,207,807千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1,068,126千円及び繰延税金資産が96,924千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は12,770,680千円となり、前事業年度末に比べて768,290千円増加いたしました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は1,715,782千円となり、前事業年度末に比べて616,915千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が318,010千円、前受金が145,203千円及び未払法人税等が79,844千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,227,788千円となり、前事業年度末に比べて1,013,089千円増加いたしました。これは長期借入金676,343千円及び退職給付引当金が244,746千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,943,570千円となり、前事業年度末に比べて396,173千円増加いたしました。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は9,827,109千円となり、前事業年度末に比べて372,116千円増加いたしました。これは主に譲渡制限付株式の付与に伴う新株発行により資本金が17,771千円、資本剰余金が17,771千円及び当期純利益の計上等により利益剰余金が325,475千円それぞれ増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,476,410千円となり、前事業年度末に比べて1,565,899千円の減少となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果、得られた資金は42,206千円（前年同期比1,212,264千円の減少）となりました。これは主に売上債権の増加額1,022,594千円及び法人税等の支払額388,970千円があった一方で、税引前当期純利益704,910千円、減価償却費803,151千円を計上したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果、1,863,104千円の支出（前年同期は2,111,088千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却80,234千円の増加要因があった一方で、有形固定資産の取得による支出1,939,611千円の資金減少要因があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果、254,998千円の収入（前年同期は1,484,426千円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出849,667千円及び配当金の支払額192,848千円の減少要因があった一方で、長期借入れによる収入1,300,000千円の資金増加要因があったことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

当社を取り巻く外部環境として、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行の影響による世界経済や我が国の経済の減速など、その先行きについては予断を許さない状況が続くとみられます。

当社の事業領域である有機化学品の受託業界におきましては、技術の細分化・深化が進んだことにより、研究開発を外部委託する傾向が続くと予想しています。

このような状況下、当社といたしましては、将来に渡り持続的に成長が出来る基盤を築く事を目指し、積極的に設備及び人材への投資を行いつつ、生産性の向上を図ってまいります。

具体的には、2020年7月から稼働する原薬精製棟にて、量産ステージ製品の製造を行うと共に、積極的な人材の育成と採用への投資を実施することにより、量産ステージ製品の増加を目指します。

また、中分子医薬品分野などの新たな技術獲得を目指した研究開発とともに、新規原薬製造案件獲得のための研究開発を引き続き行い、将来の成長のための投資といたします。

2021年3月期の業績見通しの前提となる条件は次のとおりです。

## ①売上高

売上高につきましては、受注残高、顧客からの年間発注計画や発注見込みのヒアリング、前期売上実績及び製品開発の進捗状況などの情報から予想値を算出しております。

## ②営業利益

営業利益につきましては、売上高の予想値を前提として策定される売上原価計画、販管費計画を踏まえて算出した金額を予想値としております。

売上原価計画については、主に製造設備投資による減価償却費、人員増による人件費の増加等の固定費の増加を見込んでおります。

販売費及び一般管理費計画については、主に新研究所・本社取得による減価償却費の増加を見込んでおります。

## ③経常利益

経常利益につきましては、当期に発生が見込まれる営業外収益、営業外費用を考慮して算出した金額を予想値としております。

## ④当期純利益

当期純利益につきましては、当期に発生が見込まれる特別利益、特別損失、税金費用を考慮して算出した金額を予想値としております。

以上の結果、2021年3月期の業績見通しは、売上高6,800百万円(前期比7.1%増)、営業利益950百万円(前期比65.4%増)、経常利益1,000百万円(前期比55.1%増)、当期純利益740百万円(前期比42.7%増)と予想しております。

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
売上高	6,347	6,800	7.1%
営業利益	574	950	65.4%
経常利益	644	1,000	55.1%
当期純利益	518	740	42.7%

なお、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響につきましては現在精査中であり、上記の業績予想に織り込んでおりません。業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

[新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する情報について]

①感染拡大防止対応の状況

当社では、手洗いや咳エチケット等の一般的な感染予防対策を徹底するとともに、日本国内への不要不急の出張の自粛、多人数での会議実施の自粛、不特定多数が集まるイベントの参加の禁止、可能な範囲での在宅勤務や時差出勤等を実施しながら、感染リスクの低減及び事業活動の継続に取り組んでおります。

②事業所稼働状況

受注・生産・販売状況について現時点では、影響をほぼ受けておりません。

各事業所の稼働の状況として、神戸市に所在する岩岡工場で一時的に稼働を停止しておりましたが、現在では全ての製造所・研究所は、通常通り稼働をしております。また、本社・営業機能は、在宅勤務を取り入れながら、ほぼ通常通り稼働しております。

③新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大に伴う当社業績へ及ぼす影響

当社は、顧客の研究開発や生産を支援する事業を中心に行っているため、業績はそれら顧客の開発品の開発計画や生産計画に大きく依存しております。また、当社の生産計画の遅延も業績に影響を及ぼす可能性があります。

これら計画に影響を及ぼす以下の要因が想定されます。

1. 本感染症対策に伴う世界的な経済の後退

世界・日本経済が後退し、景気が大きく低迷した場合、末端ユーザーの消費動向により、顧客の商品の生産計画に見直しが行われ、計画していた製造・販売ができなくなる可能性があります。

2. 感染症対策以外の医療臨床試験の遅れ

被験者の安全確保や医療現場の負担軽減を優先するため、治験の実施体制に見直しが行われ、医薬品の開発計画に変更が生じる事が考えられます。その場合、当社の製造・販売に遅延や中止などの影響が出てくる可能性があります。

3. 海外で生産されている電子材料等の部材や医薬原薬中間体の国内生産へのシフト

事業継続の観点から、海外で生産されている一部の電子材料等の部材や医薬原薬中間体が、日本国内で生産されるように変更される事が考えられます。その場合、当社の製造・販売量が増加し業績に影響を及ぼす可能性があります。

4. 原材料調達の遅延

当社の原材料は、中国をはじめ世界各国から調達をしております。本感染症の感染拡大により生産・物流においてその作業が滞り、原材料の調達に支障をきたす事が考えられます。その場合、製造・販売計画に遅れが発生する可能性があります。

5. 従業員の感染

当社の従業員が感染した場合、事業所の消毒や事業運営上必要な従業員の確保が難しくなり、休業を余儀なくされる事が考えられ、当社の製造・販売に影響が出てくる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,072,310	1,476,410
売掛金	504,928	1,527,406
製品	245,729	169,231
仕掛品	609,481	820,260
原材料及び貯蔵品	241,939	296,172
前払費用	23,768	29,020
その他	76,550	16,687
流動資産合計	4,774,707	4,335,189
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,853,074	3,092,062
構築物（純額）	63,229	79,795
機械及び装置（純額）	1,547,108	1,567,304
車両運搬具（純額）	7,617	6,174
工具、器具及び備品（純額）	123,038	166,455
土地	1,821,978	1,821,978
建設仮勘定	211,678	962,081
有形固定資産合計	6,627,724	7,695,851
無形固定資産		
特許権	7,500	5,000
ソフトウェア	68,253	75,861
その他	2,773	2,681
無形固定資産合計	78,526	83,543
投資その他の資産		
投資有価証券	265,388	313,984
関係会社株式	1,000	1,000
出資金	28,090	21,820
繰延税金資産	70,195	167,120
その他	156,756	152,170
投資その他の資産合計	521,431	656,096
固定資産合計	7,227,682	8,435,490
資産合計	12,002,390	12,770,680

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	256,602	232,726
1年内返済予定の長期借入金	778,002	459,992
未払金	538,442	480,208
未払費用	107,022	102,245
未払法人税等	201,555	121,711
未払消費税等	22,859	71,123
前受金	177,433	32,230
預り金	24,081	11,652
賞与引当金	210,000	200,000
受注損失引当金	16,697	3,892
流動負債合計	2,332,698	1,715,782
固定負債		
長期借入金	200,000	968,343
退職給付引当金	14,698	259,445
固定負債合計	214,698	1,227,788
負債合計	2,547,397	2,943,570
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,951,623	1,969,394
資本剰余金		
資本準備金	1,851,623	1,869,394
資本剰余金合計	1,851,623	1,869,394
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
別途積立金	3,771,000	3,771,000
繰越利益剰余金	1,791,440	2,116,915
利益剰余金合計	5,587,440	5,912,915
自己株式	-	△51
株主資本合計	9,390,686	9,751,654
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,306	75,455
評価・換算差額等合計	64,306	75,455
純資産合計	9,454,993	9,827,109
負債純資産合計	12,002,390	12,770,680



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,290,844	6,347,583
売上原価		
製品期首たな卸高	250,155	245,729
当期製品仕入高	600	—
当期製品製造原価	4,285,495	4,815,160
合計	4,536,251	5,060,889
他勘定振替高	347,124	274,557
製品期末たな卸高	245,729	169,231
売上原価	3,943,398	4,617,100
売上総利益	2,347,446	1,730,483
販売費及び一般管理費	1,107,148	1,156,023
営業利益	1,240,297	574,459
営業外収益		
受取利息	35	17
受取配当金	2,631	2,992
受取手数料	9,547	7,697
助成金収入	49,870	48,387
出資金運用益	—	19,121
その他	4,771	4,939
営業外収益合計	66,856	83,156
営業外費用		
支払利息	10,954	6,550
支払手数料	5,344	4,504
出資金運用損	5,508	—
その他	169	1,928
営業外費用合計	21,976	12,983
経常利益	1,285,177	644,632
特別利益		
固定資産売却益	382	80,234
国庫補助金	16,879	—
特別利益合計	17,261	80,234
特別損失		
固定資産除却損	888	10,033
固定資産圧縮損	5,879	—
本社等移転費用	—	9,922
特別損失合計	6,767	19,956
税引前当期純利益	1,295,670	704,910
法人税、住民税及び事業税	376,921	288,266
法人税等調整額	△17,602	△101,836
法人税等合計	359,318	186,430
当期純利益	936,352	518,480

## 【製造原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※	896,730	20.7	1,138,994	22.6
II 労務費		1,601,916	36.9	1,857,349	36.9
III 経費		1,841,633	42.4	2,042,400	40.5
当期製造費用		4,340,280	100.0	5,038,745	100.0
仕掛品期首たな卸高		589,367		609,481	
合計		4,929,647		5,648,226	
仕掛品期末たな卸高		609,481		820,260	
受注損失引当金繰入額		16,697		3,892	
受注損失引当金戻入額		51,368		16,697	
当期製品製造原価		4,285,495		4,815,160	

(注) ※ 経費の主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円) (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (千円) (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	736,468	770,321
消耗品費	536,328	648,294
水道光熱費	161,092	169,745
保守点検費	130,212	148,078

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、実際原価に基づく個別原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計		特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,951,623	1,851,623	1,851,623	25,000	19,940	3,771,000	1,028,151	4,844,092	8,647,339
当期変動額									
剰余金の配当							△193,005	△193,005	△193,005
特別償却準備金の取崩					△19,940		19,940	-	-
当期純利益							936,352	936,352	936,352
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	△19,940	-	763,288	743,347	743,347
当期末残高	1,951,623	1,851,623	1,851,623	25,000	-	3,771,000	1,791,440	5,587,440	9,390,686

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	89,245	89,245	8,736,584
当期変動額			
剰余金の配当			△193,005
特別償却準備金の取崩			-
当期純利益			936,352
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△24,938	△24,938	△24,938
当期変動額合計	△24,938	△24,938	718,408
当期末残高	64,306	64,306	9,454,993

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,951,623	1,851,623	1,851,623	25,000	3,771,000	1,791,440	5,587,440	-	9,390,686	
当期変動額										
新株の発行	17,771	17,771	17,771						35,543	
剰余金の配当						△193,005	△193,005		△193,005	
当期純利益						518,480	518,480		518,480	
自己株式の取得								△51	△51	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	17,771	17,771	17,771	-	-	325,475	325,475	△51	360,967	
当期末残高	1,969,394	1,869,394	1,869,394	25,000	3,771,000	2,116,915	5,912,915	△51	9,751,654	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	64,306	64,306	9,454,993
当期変動額			
新株の発行			35,543
剰余金の配当			△193,005
当期純利益			518,480
自己株式の取得			△51
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	11,149	11,149	11,149
当期変動額合計	11,149	11,149	372,116
当期末残高	75,455	75,455	9,827,109

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,295,670	704,910
減価償却費	755,303	803,151
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,000	△10,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,698	244,746
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△34,671	△12,805
受取利息及び受取配当金	△2,667	△3,009
助成金収入	△49,870	△48,387
支払利息	10,954	6,550
国庫補助金	△16,879	-
固定資産売却損益 (△は益)	△382	△80,234
固定資産除却損	888	10,033
固定資産圧縮損	5,879	-
本社等移転費用	-	9,922
売上債権の増減額 (△は増加)	180,457	△1,022,594
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△121,523	△188,515
仕入債務の増減額 (△は減少)	△201,923	△23,875
前受金の増減額 (△は減少)	160,259	△145,203
その他	△232,971	152,501
小計	1,773,222	397,191
利息及び配当金の受取額	2,667	3,009
助成金の受取額	49,870	48,387
利息の支払額	△11,341	△7,488
本社等移転費用の支払額	-	△9,922
法人税等の支払額	△559,948	△388,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,254,470	42,206
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券等の取得による支出	△122,520	△32,534
投資有価証券等の売却による収入	-	25,391
有形固定資産の取得による支出	△1,942,803	△1,939,611
有形固定資産の売却による収入	715	80,234
有形固定資産の除却による支出	-	△7,900
定期預金の払戻による収入	-	30,000
国庫補助金による収入	16,879	-
その他	△63,358	△18,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,111,088	△1,863,104
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,278,644	△849,667
長期借入れによる収入	-	1,300,000
上場関連費用の支出	△5,224	-
自己株式の取得による支出	-	△51
配当金の支払額	△192,386	△192,848
その他	△8,171	△2,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,484,426	254,998
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,341,044	△1,565,899
現金及び現金同等物の期首残高	5,383,354	3,042,310
現金及び現金同等物の期末残高	3,042,310	1,476,410

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している関連会社は、利益基準及び利益剰余金基準からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

(セグメント情報)

当社の事業は、事業セグメントの集約基準に基づいてこれらを集約し、「有機化学品の研究・開発・生産ソリューション事業」を単一の報告セグメントとしております。そのため、セグメント情報を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,224円71銭	1,268円86銭
1株当たり当期純利益	121円29銭	67円02銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	936,352	518,480
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	936,352	518,480
普通株式の期中平均株式数(株)	7,720,200	7,736,153

(重要な後発事象)

該当事項はありません。